

道徳学習指導略案

第3学年1組 合計 27名

1. 主題名 日本のこころ (C 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度)
2. 教材名 「おもてなし」ってなあに
3. ねらい 日本に「おもてなし」の伝統・文化があることを知ることを通して、日本の文化のすばらしさを大切にしていこうという心情を育てる。
4. 本時の展開

	学習活動 (○主な発問◎主発問・予想される児童の反応)	●指導上の留意点 ◇評価
導入	<p>1. 「おもてなし」について考え、本時の学習に対して問題意識をもつ。</p> <p>○「おもてなし」という言葉を聞いてどんなことを思い浮かべますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピックの時に使われていた。 ・「おもてなし」された相手は、気持ちがよくなる。 	<p>●おもてなしの言葉から想像できる言葉を思い浮かばせ、学習への意欲をもつことができるようにする。</p>
展開前段	<p>2. 教材『「おもてなし」ってなあに』を読んで考え、話し合う。</p> <p>○タクシーの運転手、新幹線の清掃員、和食のお店のご主人は、どのような思いからこのようなおもてなしをしているのでしょうか。</p> <p>タクシーの運転手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重そうだから手伝おう。 <p>新幹線の清掃員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんを待たせないように素早くしよう。 ・気持ちよく乗ってもらいたい。 <p>和食のお店のご主人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味だけでなく、見た目も美しくして喜んでほしい。 ・日本食の良さを知ってほしい。 <p>◎ラルフさんなど、世界の人々に喜ばれている「おもてなし」の心とは、どんな心でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えようとする心。 ・何事も丁寧にしようとする心。 ・相手が喜ぶことを考える心。 ・これまで大事にしてきたものを大切にしようとする心。 ・相手のことを考え、どんなことにも心をこめること。 	<p>●どの人も仕事としてこなしているのではなく、「お客さん」のためにという他者を意識し、喜んでもらうことを大切に考えていることについても着目できるようにする。</p> <p>●どのような思いからおもてなしをしようとしているのかを考え、それが当たり前のように日本の伝統として引き継がれていることにも着目させる。</p> <p>●ペアやグループでの意見交換の時間を取り入れ、様々な考えに触れさせる。また、なかなか思いつかない児童のヒントとなるようにする。</p> <p>◇おもてなしとは何かについて、本時やこれまでの経験から振り返り考えようとしているか。(道徳ノート・発言)</p>
展開後段	<p>3. 「おもてなし」の心のような、日本の国のよさを他にも探してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ならではのものがたくさんあるところ。 ・どんな時も相手のことを考えるところ。 	<p>●日本の文化を連想させるものを用意し、考える手立てとする。</p> <p>◇これまでの経験を振り返り、日本のよさをたくさん見つけようとしているか。(道徳ノート・発言)</p>
終末	<p>4. 教師の説話を聞く。</p> <p>○教師が感じた日本のよさについて話す。</p>	<p>●教師が今までに体験した、日本のよさについて話し、日本のよさを大切にしようとする思いを高められるようにする。</p>